



碧の風

千葉市立川戸中学校

校報 第1号

令和5年4月14日

目標に向かって

板垣 章子

川戸の町に柔らかな春風が吹き抜け、新緑の美しい風景が辺り一面を覆う季節となりました。4月7日の入学式を終え、少し寂しかった校舎に1年生から3年生までの全校生徒がそろい、活気ある新年度が始まりました。

本校の学校目標は「進んで考え みんなで育つ」です。この目標は、開校してまもなく設定されました。60年近くにも及ぶ川戸中の歴史を支え、代々の生徒たちの指針となり続けた、親しみやすい目標といえるでしょう。

また本校には、もう一つ、大きな教育目標があります。それは、小中一貫教育校として川戸小学校と共有する目標です。一貫教育校がスタートして3年が過ぎた今春に、小学校と協議し、「小中一貫教育目標」と「目指すべき生徒の姿」を次のように刷新しました。

【小中一貫教育目標】

自ら学び、考え、協働する力の育成

【小中一貫の目指すべき生徒の姿】

15の春に、郷土を想い、「生きる力」を身に付け、
未来を切り拓くことができる生徒

学校では、さまざまな目標を設定しています。学年目標、学級目標、朝の学活では「今日の目標」を学級ごとに定めたりもします。あらゆる行事や活動において、内容や場面に即した目標や目的を定めています。また、生徒一人一人も「今年の目標」や「今学期の目標」などを考え、実現できるように努めています。こうして、常に目標を掲げながら理想に向かって努力することを学ぶ場所が、学校なのかもしれません。

4月は何もかもが新しく、友達、先生、先輩、後輩など、まわりの仲間も新鮮です。また、新しい係や委員会、部活動など、自分の役割も変化し、緊張しながらも背筋を伸ばし、目を輝かせて頑張っている姿があちらこちらに見受けられます。この生徒たちの笑顔と意欲が継続できるよう、私たち教職員もまた、気を引き締めて頑張っていきたいと思えます。

今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。



校舎まわりに自生する
青紫のムスカリの花

